

新名神高速道路・高速道路無料化社会実験等の 三重県内企業への影響アンケート調査報告書

対象：三重県に本社（もしくは事業所）を置く企業

（調査結果のまとめ）

●調査を実施した背景

平成 20 年の新名神高速道路の亀山～草津田上間の開通や、22 年 6 月からの高速道路無料化社会実験の実施など、高速道路を中心に三重県内の交通事情に大きな変化があり、事業活動にも大きな影響を与えたものとみられる。

これらの影響を把握するため、三重県内の企業を対象にアンケート調査を実施した。

●主な調査結果

全体の傾向としては、新名神高速道路開通や、高速道路無料化社会実験等の高速道路政策は県内外の**ヒト、モノの流れを活発にし、“良い影響があった”**と評価する企業が目立った。特に、旅館など宿泊業の多い**伊勢志摩地域では良い影響が大きい**とみられる。一方で、高速道路が通っていない伊賀地域では政策への評価が低い。小売業などでは顧客が減ったとの意見もみられた。

<新名神高速道路開通の事業活動への影響>

・“影響があった”との回答は約**3割**（29.7%）であった。その回答のうち“良い影響”としてあげられたのは「商品配送や移動時間が短くなった（49.3%）」などであった。“悪い影響”では「高速道路の渋滞で、商品配送や移動時間が長くなった（31.2%）」など**渋滞に関する回答**が目立つ。

・業種別では、「**飲食業・宿泊業**」、「**運輸業**」で“影響があった”の割合が高い。

<三重県内の高速道路無料化社会実験の事業活動への影響>

・“影響があった”との回答は約**3割**（34.2%）であった。その回答のうち“良い影響”としてあげられたのは「配送・移動コストの削減につながった（54.1%）」などであった。“悪い影響”では具体的な影響への回答割合は低く、悪い影響は少なかったとみられる。

・地域別では、「**東紀州地域**」、「**中勢地域**」、「**伊勢志摩地域**」で“影響があった”が半数超となった。

<ETC休日特別割引(休日上限1,000円)の事業活動への影響>

・“影響があった”との回答は約**2割**（22.2%）であった。その回答のうち、“良い影響”としてあげられたのは「配送・移動コストの削減につながった（45.6%）」などであった。

・業種別では、「**飲食業・宿泊業**」で“影響があった”が**4分の3**（75.0%）、「**運輸業**」が**5割**近くと高い（45.5%）。

<地域の活性化につながったと思うか>

・自社の事業活動への影響の有無に限らず、“**新名神高速道路開通が地域の活性化につながったと思うか**”を尋ねた結果では、「どちらかというと思う」をあわせて**4分の3**が“**活性化につながったと思う**”と回答している（75.2%）。

・**高速道路無料化社会実験**については約**6割**（64.3%）が、**ETC休日特別割引**については約**7割**（69.0%）が“**活性化につながったと思う**”と回答している。

・“活性化につながったと思う理由”については、**交通量が増えたこと**、特に、**県外ナンバーの車両が増えたこと**をあげる回答（自由記入）が目立った。“思わない理由”としては、**渋滞の増加**や、地域間格差の発生、地域での宿泊客増加に結びついていないとの回答があった（新名神開通、高速道路無料化社会実験、ETC休日特別割引のいずれについても同様）。

<高速道路の料金についての考え>

・高速道路の料金についての考えでは、「**土日・祝日は無料もしくは割引するのがよい**」の割合が**最も高くなった**（43.7%）。

【お問い合わせ先】

株式会社 百五経済研究所 経営コンサルティング部 川北、森里
TEL 059-228-9105 FAX 059-228-9380

I アンケート調査の概要

1. 調査目的

平成 20 年の新名神高速道路の亀山～草津田上間^{くさつたなかみ}の開通や、22 年 6 月からの高速道路無料化社会実験の実施など、高速道路を中心に三重県内の交通事情に大きな変化があり、事業活動にも大きな影響を与えたものとみられる。

これらの影響を把握するため、三重県内の企業を対象にアンケート調査を実施した。

2. 調査の期間

平成 23 年 1 月下旬～2 月上旬

3. 調査対象

三重県に本社（もしくは事業所）を置く企業

4. 配布方法

郵送によりアンケート票を発送・回収

1,357 社に発送、回答数 465 社（回答率 34.3%）

5. 主な調査項目（目次）

1. 新名神高速道路（亀山～草津田上間）開通（平成 20 年 2 月）の事業活動への影響について	3
1-1. 新名神高速道路開通による事業活動への影響の有無	3
1-2. 新名神高速道路開通による良い影響	4
1-3. 新名神高速道路開通による悪い影響	5
2. 三重県内の高速道路無料化社会実験（平成 22 年 6 月～）の事業活動への影響について	7
2-1. 三重県内の高速道路無料化社会実験による事業活動への影響の有無	7
2-2. 三重県内の高速道路無料化社会実験による良い影響	8
2-3. 三重県内の高速道路無料化社会実験による悪い影響	9
3. ETC 休日特別割引（休日上限 1,000 円、平成 21 年 3 月～）の事業活動への影響について	11
3-1. ETC 休日特別割引による事業活動への影響の有無	11
3-2. ETC 休日特別割引による良い影響	12
3-3. ETC 休日特別割引による悪い影響	13
4. 新名神高速道路開通・高速道路無料化社会実験等の地域への影響について	15
4-1. 新名神高速道路開通は地域の活性化につながったと思うか	15
4-2. 高速道路無料化社会実験は地域の活性化につながったと思うか	17
4-3. ETC 休日特別割引は地域の活性化につながったと思うか	19
5. 高速道路の料金についての考え	21

6. 有効回答の属性

①本社（事業所）所在地

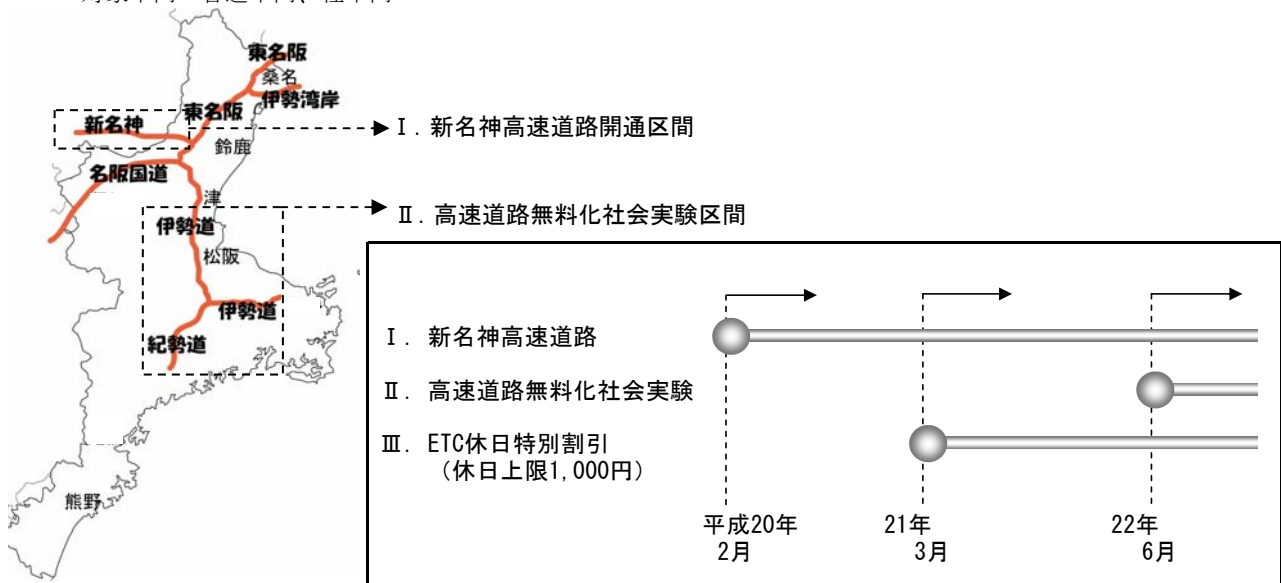
	回答企業数	構成比 (%)
北勢地域	183	39.4
中勢地域	116	25.0
伊勢志摩（南勢）地域	95	20.4
伊賀地域	42	9.0
東紀州地域	27	5.8
不明	2	0.4

②主たる業種

	回答企業数	構成比 (%)
製造業	195	42.0
建設業	75	16.1
卸売業	47	10.1
小売業	49	10.5
運輸業	22	4.7
飲食業・宿泊業	12	2.6
サービス業	47	10.1
その他	18	3.9
不明	0	0.0

本調査で把握した新名神高速道路（亀山～草津田上間）の開通時期、高速道路政策のスケジュールおよび区間について

- I. 新名神高速道路開通（新名神高速道路の亀山～草津田上間の開通、平成 20 年 2 月）
- II. 高速道路無料化社会実験
 - ・無料化社会実験期間 平成 22 年 6 月 28 日～
 - ・対象日 全曜日
 - ・無料化社会実験区間 伊勢自動車道 津 IC～伊勢 IC、紀勢自動車道 勢和多気 JCT～紀勢大内山 IC
- III. ETC 休日特別割引（休日上限 1,000 円、平成 21 年 3 月～）
 - ・対象日 休日（土日祝日）
 - ・対象車両 普通車両、軽車両



※1 本書での図表中の n は設問ごとの有効回答数を表す。

※2 回答数が、5 件以下の場合にはコメントを差し控えた。

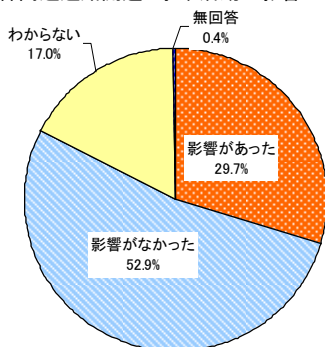
II 調査結果

1. 新名神高速道路（亀山～草津田上間）開通（平成20年2月）の事業活動への影響について

1-1. 新名神高速道路開通による事業活動への影響の有無

新名神高速道路（亀山～草津田上間）開通（平成20年2月）による事業活動への影響の有無を尋ねた結果では、「影響がなかった」が半数以上を占め（52.9%）、「影響があった」は約3割であった（29.7%）。

新名神高速道路開通 事業活動に影響があったか

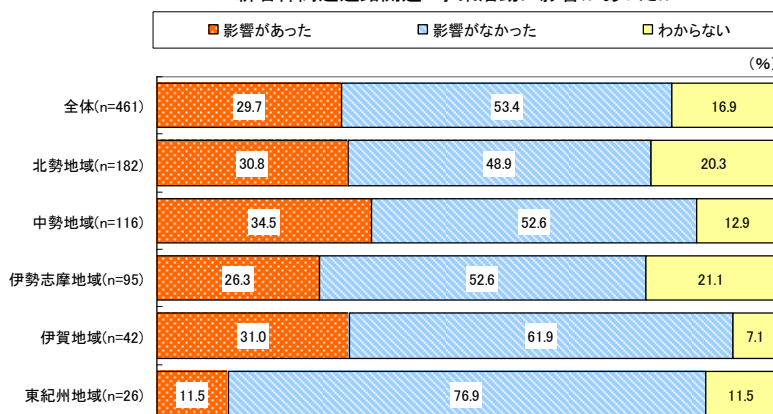


n=465

【地域別】

所在地別にみると、「東紀州地域」で「影響があった」の回答割合が低い（11.5%）。

新名神高速道路開通 事業活動に影響があったか

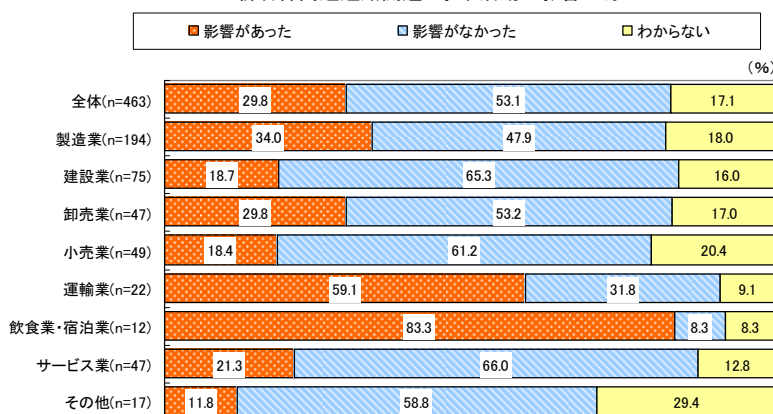


※無回答を除く

【業種別】

業種別にみると、「飲食業・宿泊業」、「運輸業」で「影響があった」の回答割合が高い。

新名神高速道路開通 事業活動に影響があったか

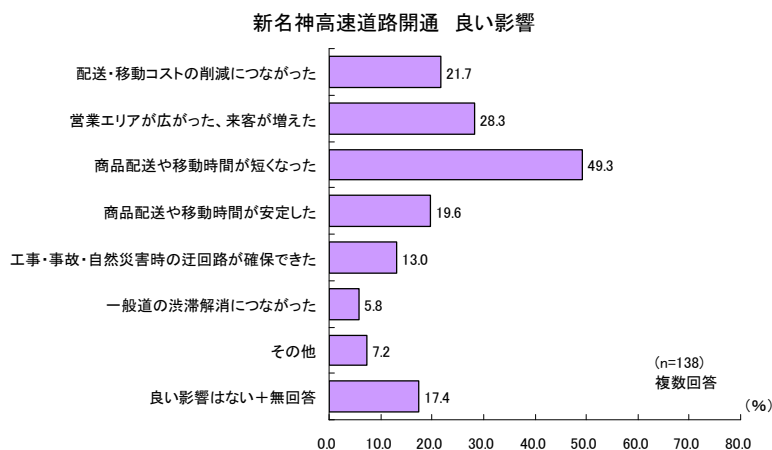


※無回答を除く

1-2. 新名神高速道路開通による良い影響（複数回答）

“影響があった”とした企業に対して“良い影響”の内容を尋ねた結果では、「商品配送や移動時間が短くなった」との回答割合が最も高く、約5割が回答している（49.3%）。次いで、「営業エリアが広がった、来客が増えた（28.3%）」、「配送・移動コストの削減につながった（21.7%）」、「商品配送や移送時間が安定した（19.6%）」が続く。

“影響があった”のうち、「良い影響はない」と「無回答」をあわせると17.4%であった。



【地域別】

所在地別にみると、「伊勢志摩地域」で「営業エリアが広がった、来客が増えた」の回答割合が高い（60.0%）。

新名神高速道路開通による良い影響×地域別 ※所在地無回答分を除く (%)

	たにスト配 つたのの削 なが減 がっ	た来客が 増え た	が営業 エリア が広が った、 来客が 増えた	短移 く動 な時 った間 が	商 品配 送や 移動 時間 が	安 定し た	移 動時 間 が	商 品配 送 が	確 保 で きた	の 迂 回 路 が	自 然 災 害 時	工 事・ 事 故・ な が つ た	滞 解 消 に つ な が つ た	一 般 道 の 渋 滞	そ の 他	十 無 回 答	な い 良 い 影 響 は
全体 (n=138)	21.7	28.3	49.3	19.6	13.0	5.8	7.2	17.4									
北勢地域 (n=56)	23.2	23.2	58.9	16.1	12.5	3.6	8.9	17.9									
中勢地域 (n=40)	20.0	20.0	55.0	22.5	10.0	5.0	5.0	12.5									
伊勢志摩地域 (n=25)	16.0	60.0	32.0	20.0	12.0	0.0	12.0	12.0									
伊賀地域 (n=13)	23.1	23.1	30.8	23.1	30.8	30.8	0.0	30.8									
東紀州地域 (n=3)	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7									

【業種別】

業種別にみると、「飲食業・宿泊業」では「営業エリアが広がった、来客が増えた」の回答割合が高い（70.0%）。「運輸業」、「製造業」で「商品配送や移動時間が短くなった」の回答割合が高い。

新名神高速道路開通による良い影響×業種別 ※業種無回答分を除く (%)

	たにスト配 つたのの削 なが減 がっ	た来客が 増え た	が営業 エリア が広が った、 来客が 増えた	短移 く動 な時 った間 が	商 品配 送や 移動 時間 が	安 定し た	移 動時 間 が	商 品配 送 が	確 保 で きた	の 迂 回 路 が	自 然 災 害 時	工 事・ 事 故・ な が つ た	滞 解 消 に つ な が つ た	一 般 道 の 渋 滞	そ の 他	十 無 回 答	な い 良 い 影 響 は
全体 (n=138)	21.7	28.3	49.3	19.6	13.0	5.8	7.2	17.4									
製造業 (n=66)	25.8	22.7	63.6	30.3	18.2	9.1	4.5	9.0									
建設業 (n=14)	21.4	21.4	28.6	14.3	0.0	0.0	21.4	35.7									
卸売業 (n=14)	21.4	28.6	35.7	0.0	0.0	0.0	7.1	35.7									
小売業 (n=9)	0.0	33.3	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0	55.6									
運輸業 (n=13)	38.5	15.4	76.9	23.1	30.8	7.7	0.0	7.7									
飲食業・宿泊業 (n=10)	0.0	70.0	0.0	10.0	10.0	0.0	30.0	0.0									
サービス業 (n=10)	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0									
その他 (n=2)	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0									

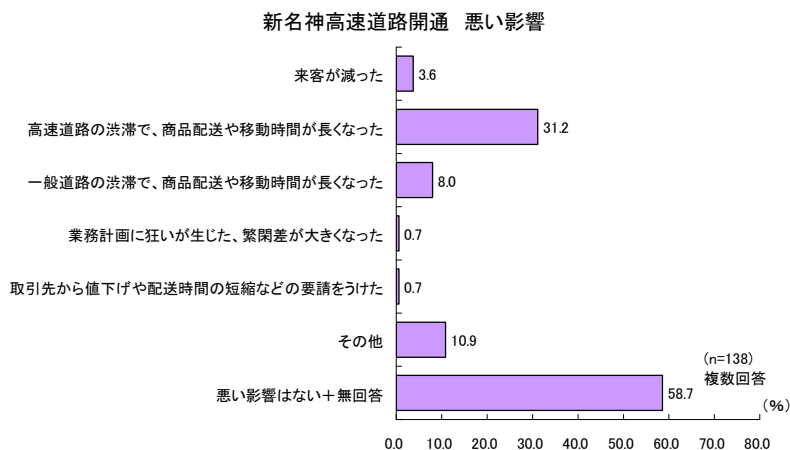
* は30%以上40%未満 は40%以上50%未満 は50%以上（以降のページでも同じ）

1-3. 新名神高速道路開通による悪い影響（複数回答）

“影響があった”とした企業に対して“悪い影響”を尋ねた結果では、「悪い影響はない」と「無回答」をあわせた割合が約6割を占め（58.7%）、「良い影響」の場合と比べると“悪い影響”があった割合は低くなっている。

具体的な影響の回答の中では、「高速道路の渋滞で、商品配送や移動時間が長くなった（31.2%）」が約3割で回答割合が最も高く、「一般道路の渋滞で、商品配送や移動時間が長くなった（8.0%）」が続き、渋滞の影響についての回答が目立つ。

「その他」の記入（自由記入）の中でも、“渋滞の影響で移動時間の見込みがつかなくなった”との回答が複数みられた。



【地域別】

所在地別にみると、地域別で大きな差はみられなかった。

新名神高速道路開通による悪い影響×地域別 ※所在地無回答分を除く (%)

	客が減った	高速道路の渋滞で、商品配送や移動時間が長くなった	一般道路の渋滞で、商品配送や移動時間が長くなった	業務計画に狂いが生じた、緊閉差が大きくなった	取引先から値下げや配送時間の短縮などの要請を受けた	その他	悪い影響はない+無回答
全体 (n=138)	3.6	31.2	8.0	0.7	0.7	10.9	58.7
北勢地域 (n=56)	5.4	32.1	10.7	0.0	1.8	8.9	53.6
中勢地域 (n=40)	0.0	32.5	2.5	0.0	0.0	10.0	65.0
伊勢志摩地域 (n=25)	8.0	20.0	8.0	0.0	0.0	16.0	68.0
伊賀地域 (n=13)	0.0	38.5	15.4	7.7	0.0	15.4	46.2
東紀州地域 (n=3)	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

【業種別】

業種別にみると、「運輸業」、「卸売業」、「建設業」で「高速道路の渋滞で、商品配送や移動時間が長くなった」の回答割合が高い。

新名神高速道路開通による悪い影響×業種別 ※業種無回答分を除く (%)

	客が減った	高速道路の渋滞で、商品配送や移動時間が長くなった	一般道路の渋滞で、商品配送や移動時間が長くなった	業務計画に狂いが生じた、緊閉差が大きくなった	取引先から値下げや配送時間の短縮などの要請を受けた	その他	悪い影響はない+無回答
全体 (n=138)	3.6	31.2	8.0	0.7	0.7	10.9	58.7
製造業 (n=66)	0.0	21.2	4.5	0.0	0.0	10.6	69.7
建設業 (n=14)	0.0	50.0	21.4	7.1	0.0	14.3	42.8
卸売業 (n=14)	14.3	57.1	0.0	0.0	0.0	14.3	28.5
小売業 (n=9)	22.2	44.4	22.2	0.0	0.0	11.1	44.4
運輸業 (n=13)	7.7	61.5	23.1	0.0	7.7	7.7	23.1
飲食業・宿泊業 (n=10)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	80.0
サービス業 (n=10)	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	90.0
その他 (n=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

【特に影響が大きかったこと（新名神高速道路開通による良い影響）】

※自由記入の回答から特徴あるものを抜粋

卸売業	出張が日帰りのできるようになり、経費削減につながった。
製造業	関西方面の取引が増加した。
製造業	関西方面の取引先と親交が図れた。
製造業	関西方面で新しく取引先が増えた。
製造業	アクセスがよくなったことで、取引先への訪問件数が増えた。
飲食業・宿泊業	関西方面の宿泊客が増えた。
サービス業	関西圏からの取引先の来社が増えた。
建設業	部品納入が便利になった。
サービス業	関西圏からの食材などの取扱商品の種類が増えた。
製造業	出張の移動時間が短縮し、安定した。
運輸業	納入時間に遅れることが少なくなった。特に、繁忙時に助かっている。

【特に影響が大きかったこと（新名神高速道路開通による悪い影響）】

※自由記入の回答から特徴あるものを抜粋

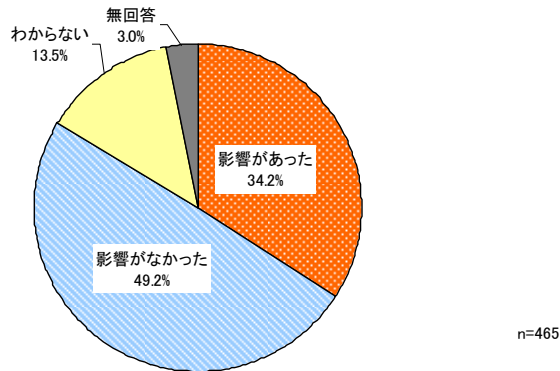
飲食業・宿泊業	関西圏からの観光客は増加したが、宿泊にはつながらず、日帰りが主になっている。
飲食業・宿泊業	渋滞によりお客様の到着時間が遅れて、体験イベントなどの利用が減少した。
製造業	出張時に必ず渋滞にひっかかる。
製造業	渋滞により名古屋方面への移動に時間がかかるようになった。
運輸業	渋滞で貨物トラックの運転手の拘束時間が長くなった。
製造業	渋滞で商品の遅れが発生した。
卸売業	渋滞により移動時間が読めなくなった。大きく悪影響を受けている。
製造業	祝日の渋滞により、生産活動に悪影響が出た。
建設業	他地域からの競合先の流入があった。

2. 三重県内の高速道路無料化社会実験（平成 22 年 6 月～）の事業活動への影響について

2-1. 三重県内の高速道路無料化社会実験による事業活動への影響の有無

三重県内の高速道路無料化社会実験（伊勢自動車道 津 IC～伊勢 IC、紀勢自動車道 勢和多気 JCT～紀勢大内山 IC、平成 22 年 6 月～）により事業活動に影響があったかを尋ねた結果では、「影響がなかった」がほぼ 2 分の 1 を占め（49.2%）、「影響があった」は約 3 割であった（34.2%）。

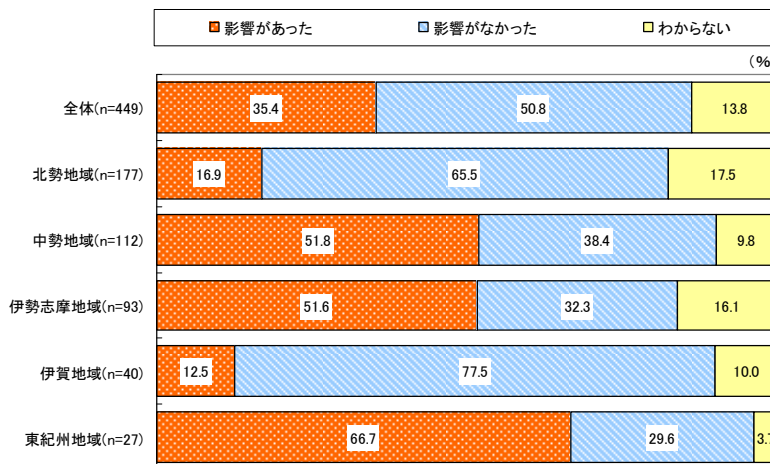
高速道路無料化社会実験 事業活動に影響があったか



【地域別】

所在地別にみると、「東紀州地域」、「中勢地域」、「伊勢志摩地域」で「影響があった」の回答割合が高く 5 割超であるのに対し、「北勢地域」、「伊賀地域」では 2 割を下回っている。

高速道路無料化社会実験 事業活動に影響があったか

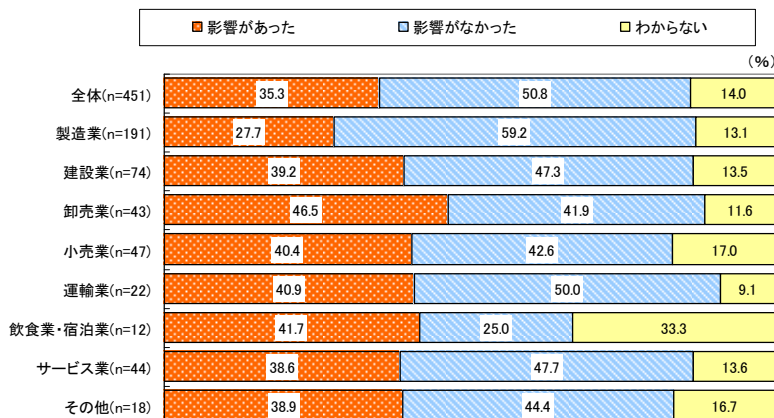


※無回答を除く

【業種別】

業種別にみると、「卸売業」では「影響があった」が約 5 割（46.5%）近くになっているが、「製造業」では約 3 割（27.7%）となっている。

高速道路無料化社会実験 事業活動に影響があったか

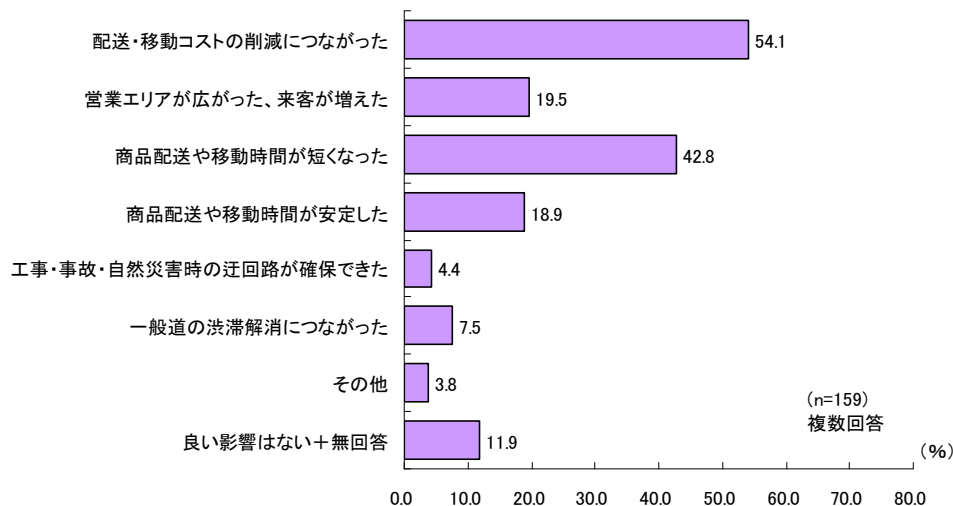


※無回答を除く

2-2. 三重県内の高速道路無料化社会実験による良い影響（複数回答）

“影響があった”とした企業に対して“良い影響”の内容を尋ねた結果では、「良い影響はない」と「無回答」をあわせても 11.9%で、9割近くで“良い影響”があったとみられる。具体的な影響の回答のなかでは、「配送・移動コストの削減につながった（54.1%）」、「商品配送や移動時間が短くなった（42.8%）」が続き、これら2つの回答割合が際立って高い。

高速道路無料化社会実験 良い影響



【地域別】

所在地別にみると、「伊勢志摩地域」で「営業エリアが広がった、来客が増えた」の回答割合が高い（33.3%）。

高速道路無料化社会実験による良い影響×地域別 ※所在地無回答分を除く (%)

	たにスト配 つたの削 なが減コ	た来客が 増え	が広 がった、 営業エ リア	短 く な っ た	移 動 時 間 が	商 品 配 送 や	安 定 し た	移 動 時 間 が	商 品 配 送 や	確 保 で き た	の 迂 回 路 が	自 然 災 害 時	工 事 ・ 事 故 ・	な が っ た	滞 解 消 に つ な が っ た	一 般 道 の 渋 滞	そ の 他	十 無 回 答	な い 良 い 影 響 は
全体 (n=159)	54.1	19.5	42.8	18.9	4.4	7.5	3.8	11.9											
北勢地域 (n=30)	50.0	16.7	40.0	23.3	10.0	3.3	0.0	20.0											
中勢地域 (n=58)	56.9	15.5	46.6	19.0	1.7	10.3	1.7	6.9											
伊勢志摩地域 (n=48)	50.0	33.3	45.8	18.8	4.2	10.4	6.3	8.4											
伊賀地域 (n=5)	60.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0											
東紀州地域 (n=18)	61.1	5.6	33.3	11.1	5.6	0.0	11.1	22.3											

【業種別】

業種別にみると、「運輸業」が「商品配送や移動時間が安定した」の回答割合が高い（44.4%）。

高速道路無料化社会実験による良い影響×業種別 ※業種無回答分を除く (%)

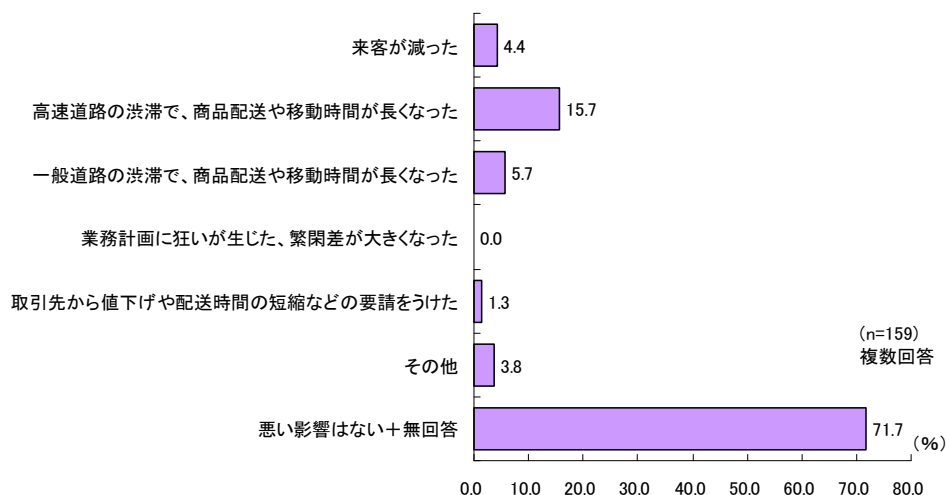
	たにスト配 つたの削 なが減コ	た来客が 増え	が広 がった、 営業エ リア	短 く な っ た	移 動 時 間 が	商 品 配 送 や	安 定 し た	移 動 時 間 が	商 品 配 送 や	確 保 で き た	の 迂 回 路 が	自 然 災 害 時	工 事 ・ 事 故 ・	な が っ た	滞 解 消 に つ な が っ た	一 般 道 の 渋 滞	そ の 他	十 無 回 答	な い 良 い 影 響 は
全体 (n=159)	54.1	19.5	42.8	18.9	4.4	7.5	3.8	11.9											
製造業 (n=53)	62.3	15.1	41.5	13.2	1.9	11.3	5.7	9.4											
建設業 (n=29)	55.2	3.4	37.9	13.8	3.4	3.4	6.9	17.2											
卸売業 (n=20)	60.0	25.0	60.0	35.0	5.0	0.0	0.0	5.0											
小売業 (n=19)	36.8	31.6	31.6	15.8	0.0	15.8	5.3	21.0											
運輸業 (n=9)	66.7	11.1	33.3	44.4	11.1	11.1	0.0	11.1											
飲食業・宿泊業 (n=5)	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											
サービス業 (n=17)	52.9	23.5	52.9	17.6	11.8	5.9	0.0	11.8											
その他 (n=7)	28.6	28.6	71.4	28.6	14.3	0.0	0.0	14.3											

2-3. 三重県内の高速道路無料化社会実験による悪い影響（複数回答）

“影響があった”とした企業に対して、“悪い影響”を尋ねた結果では、「悪い影響はない」と「無回答」をあわせた割合が約7割を占め、(71.7%)。“良い影響”の場合と比べると“悪い影響”があった割合は低くなっている。

具体的な影響の回答の中では、「高速道路の渋滞で、商品配送や移動時間が長くなった(15.7%)」、の回答割合が最も高く、次に「一般道路の渋滞で、商品配送や移動時間が長くなった(5.7%)」となっている。

高速道路無料化社会実験 悪い影響



【地域別】

所在地別にみると、「東紀州地域」で「高速道路の渋滞で、商品配送や移動時間が長くなった」の回答割合が高くなっている(33.3%)。

高速道路無料化社会実験による悪い影響×地域別 ※所在地無回答分を除く (%)

	客が減った	高速道路の渋滞で、商品配送や移動時間が長くなった	一般道路の渋滞で、商品配送や移動時間が長くなった	業務計画に狂いが生じた、繁閑差が大きくなった	取引先から値下げや配送時間の短縮などの要請を受けた	その他	悪い影響はない+無回答
全体 (n=159)	4.4	15.7	5.7	0.0	1.3	3.8	71.7
北勢地域 (n=30)	3.3	23.3	3.3	0.0	3.3	6.7	60.0
中勢地域 (n=58)	3.4	10.3	6.9	0.0	0.0	1.7	79.3
伊勢志摩地域 (n=48)	4.2	12.5	6.3	0.0	0.0	2.1	79.2
伊賀地域 (n=5)	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	60.0
東紀州地域 (n=18)	5.6	33.3	5.6	0.0	0.0	11.1	50.0

【業種別】

業種別にみると、「製造業」、「建設業」、「卸売業」で「高速道路の渋滞で、商品配送や移動時間が長くなった」の回答割合が高くなっている。

高速道路無料化社会実験による悪い影響×業種別 ※業種無回答分を除く (%)

	客が減った	高速道路の渋滞で、商品配送や移動時間が長くなった	一般道路の渋滞で、商品配送や移動時間が長くなった	業務計画に狂いが生じた、繁閑差が大きくなった	取引先から値下げや配送時間の短縮などの要請を受けた	その他	悪い影響はない+無回答
全体 (n=159)	4.4	15.7	5.7	0.0	1.3	3.8	71.7
製造業 (n=53)	5.7	22.6	1.9	0.0	0.0	3.8	67.9
建設業 (n=29)	0.0	20.7	6.9	0.0	0.0	3.4	72.4
卸売業 (n=20)	5.0	20.0	5.0	0.0	0.0	5.0	65.0
小売業 (n=19)	10.5	10.5	10.5	0.0	0.0	0.0	79.0
運輸業 (n=9)	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	66.6
飲食業・宿泊業 (n=5)	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	60.0
サービス業 (n=17)	0.0	5.9	11.8	0.0	0.0	0.0	82.4
その他 (n=7)	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	85.8

【特に影響が大きかったこと（高速道路無料化社会実験による良い影響）】

※自由記入の回答から特徴あるものを抜粋

小売業	近隣の市町からの来店客数が増加した。
小売業	遠方からの来店客が増加した。
飲食業・宿泊業	三重県内からの外食での利用が増加した。
サービス業	来店客が1割程度増加した。
建設業	営業範囲を拡大することができた。
卸売業	料金が無料になったことで取引先への訪問回数が増加した。
製造業	多少であるが、商品の運送コストが削減できた。
製造業	遠方への配達時間が短縮できた。1日の配達件数が増加した。
運輸業	配送時間の短縮と、配送が安定するようになった。
製造業	従業員の通勤時間が短縮された。
建設業	社員の通勤費が削減できた。

【特に影響が大きかったこと（高速道路無料化社会実験による悪い影響）】

※自由記入の回答から特徴あるものを抜粋

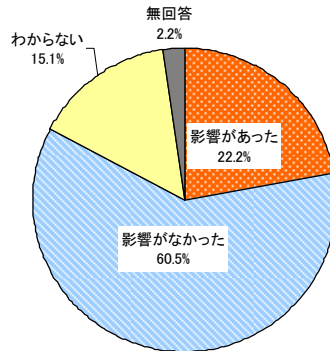
小売業	観光客が渋滞を心配して早く帰宅するようになった。
小売業	商圏内人口の購買が流出しやすくなった。
小売業	マイカーが増加したが、タクシーの利用客が減少したように感じる。
運輸業	鉄道客が減少した。
飲食業・宿泊業	地元住民の高速道路の利用が増えて渋滞が起こり、到着が遅れる観光客や、予定通りに観光できない観光客が発生した。
製造業	インターチェンジ周辺の混雑で市内の移動に時間がかかるようになった。
卸売業	高速道路に慣れてないドライバーが増加して危険になった。インターチェンジ近くで渋滞が発生して、配送時間が長くなった。
製造業	ダンプカーや高齢者の運転する低速車が増えた。安全面でリスクが大きくなったように思える。

3. ETC休日特別割引（休日上限1,000円、平成21年3月～）の事業活動への影響について

3-1. ETC休日特別割引による事業活動への影響の有無

ETC休日特別割引（休日上限1,000円、平成21年3月～）により事業活動に影響があったかを尋ねた結果では、「影響がなかった」が約6割を占め（60.5%）、「影響があった」は約2割となっている（22.2%）。

ETC休日特別割引 事業活動に影響があったか

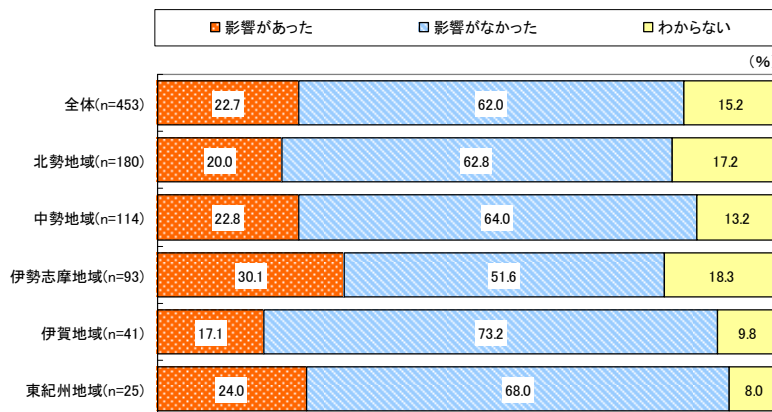


n=465

【地域別】

所在地別にみると、「伊勢志摩地域」が「影響があった」の回答割合が最も高く（30.1%）、「伊賀地域」が低い（17.1%）。

ETC休日特別割引 事業活動に影響があったか

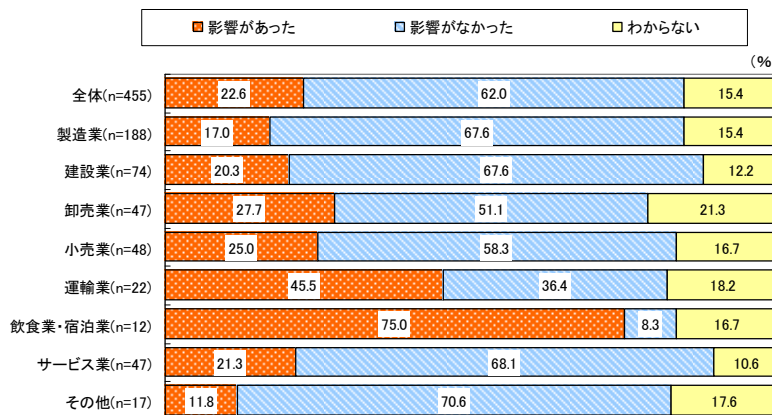


※無回答を除く

【業種別】

業種別にみると、「飲食業・宿泊業」で「影響があった」が7割を超え（75.0%）、「運輸業」で5割近くと高くなっている（45.5%）。

ETC休日特別割引 事業活動に影響があったか



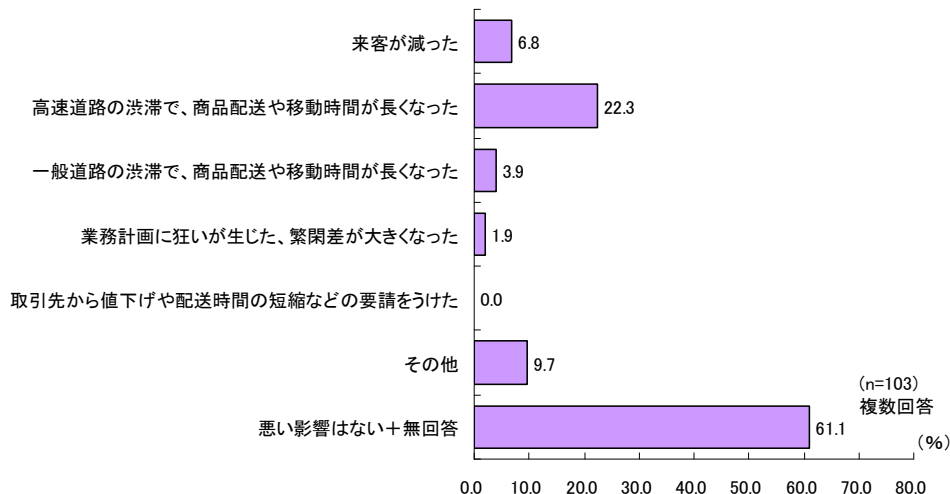
※無回答を除く

3-3. ETC休日特別割引による悪い影響（複数回答）

“影響があった”とした企業に対して“悪い影響”の内容を尋ねた結果では、「悪い影響はない」と「無回答」をあわせた割合が6割以上を占めた（61.1%）。

具体的な影響の回答の中では、「高速道路の渋滞で、商品配送や移動時間が長くなった（22.3%）」の回答割合が最も高く、次いで、「来客が減った（6.8%）」となっている。

ETC休日特別割引 悪い影響



【地域別】

所在地別にみると、「東紀州地域」で「高速道路の渋滞で、商品配達や移動時間が長くなった」の回答割合が高い（50.0%）。

ETC休日特別割引による悪い影響×地域別 ※所在地無回答分を除く (%)

	来客が減った	時間送渋高 間送滞速 がやで道 長移商路 く動品の	時間送渋一 間送滞般 がやで道 長移商路 く動品の	た大た狂業 きい務計 く繁閑画 な差生に	縮送値取 受な時下引 けたのの先 たののや 要短配ら	その他	悪い影響は ない+無回答
全体 (n=103)	6.8	22.3	3.9	1.9	0.0	9.7	61.1
北勢地域 (n=36)	11.1	22.2	0.0	2.8	0.0	11.1	55.5
中勢地域 (n=26)	7.7	26.9	3.8	0.0	0.0	7.7	57.7
伊勢志摩地域 (n=28)	3.6	14.3	10.7	3.6	0.0	7.1	71.4
伊賀地域 (n=7)	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6	71.5
東紀州地域 (n=6)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

【業種別】

業種別にみると、「運輸業」、「小売業」で「高速道路の渋滞で、商品配達や移動時間が長くなった」の回答割合が高い。

ETC休日特別割引による悪い影響×業種別 ※業種無回答分を除く (%)

	来客が減った	時間送渋高 間送滞速 がやで道 長移商路 く動品の	時間送渋一 間送滞般 がやで道 長移商路 く動品の	た大た狂業 きい務計 く繁閑画 な差生に	縮送値取 受な時下引 けたのの先 たののや 要短配ら	その他	悪い影響は ない+無回答
全体 (n=103)	6.8	22.3	3.9	1.9	0.0	9.7	61.1
製造業 (n=32)	3.1	25.0	0.0	0.0	0.0	6.3	68.8
建設業 (n=15)	0.0	26.7	0.0	0.0	0.0	13.3	66.6
卸売業 (n=13)	0.0	23.1	7.7	0.0	0.0	15.4	53.9
小売業 (n=12)	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	58.3
運輸業 (n=10)	30.0	40.0	0.0	10.0	0.0	20.0	10.0
飲食業・宿泊業 (n=9)	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	22.2	55.5
サービス業 (n=10)	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	90.0
その他 (n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

【特に影響が大きかったこと（ETC休日特別割引による良い影響）】

※自由記入の回答から特徴あるものを抜粋

飲食業・宿泊業	来店客が増加した。
飲食業・宿泊業	これまでよりも遠方の顧客が増加した。
運輸業	かなり遠方からの利用者があった。
製造業	休日割引を活用して遠方まで営業活動をする事ができた。
建設業	土日の仕事の場合、交通費が削減につながった。
卸売業	長距離出張時の交通費の削減につながった。

【特に影響が大きかったこと（ETC休日特別割引による悪い影響）】

※自由記入の回答から特徴あるものを抜粋

飲食業・宿泊業	平日の施設の稼働率が悪くなった。
飲食業・宿泊業	日帰り客が多くて、宿泊につながっていない。
小売業	土日・祝日に来客が集中し、平日の来客は落ち込んだ。土日・祝日も割引メリットが少ない地域からの来客は減少した。
飲食業・宿泊業	土日の渋滞で、到着が遅れる利用客が多い。
運輸業	土日の大渋滞で運行時間がかかりすぎる。

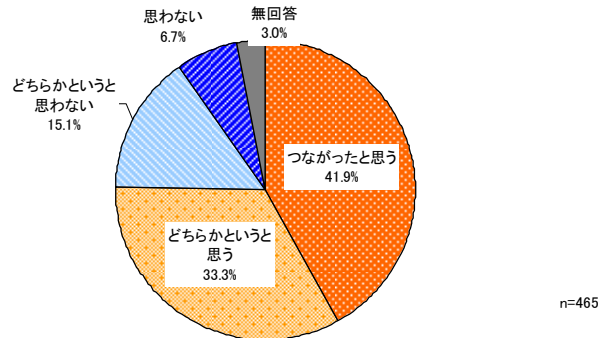
4. 新名神高速道路開通・高速道路無料化社会実験等の地域への影響について

※ここでは、自社の事業活動への影響の有無に限らず、“地域の活性化につながったかどうか”を尋ねた。

4-1. 新名神高速道路開通は地域の活性化につながったと思うか

“新名神高速道路開通は地域の活性化につながったと思うか”を尋ねた結果では、「つながったと思う（41.9%）」と「どちらかというと思う（33.3%）」をあわせると75.2%が、“活性化につながったと思う”と回答している。

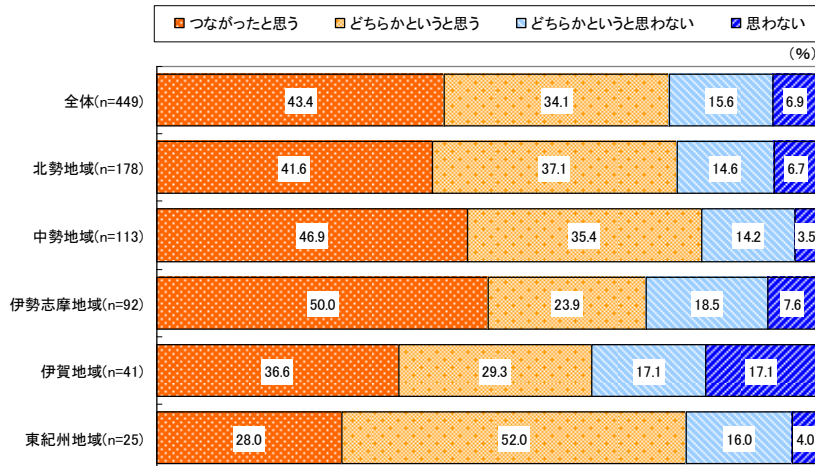
新名神高速道路開通 地域の活性化につながったと思うか



【地域別】

所在地別にみると、“活性化につながったと思う（「つながったと思う」+「どちらかというと思う」）”の回答割合は、「伊賀地域」が最も低くなっている（65.9%）

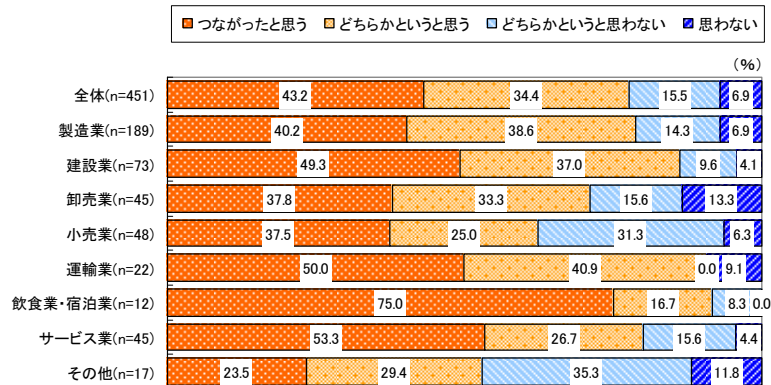
新名神高速道路開通 地域の活性化につながったと思うか



【業種別】

業種別にみると、“活性化につながったと思う（「つながったと思う」+「どちらかというと思う」）”の回答割合は、「飲食業・宿泊業」、「運輸業」で高く、「小売業」、「卸売業」で低くなっている。

新名神高速道路開通 地域の活性化につながったと思うか



【理由：新名高速道路開通は地域の活性化につながったと思う+どちらかというと思う】

※自由記入の回答から特徴あるものを抜粋

・関西方面へのアクセスが良くなり、人の流れ、物流面で活性化したと思う。
・交通量が多くなったことから経済効果があると思う。
・交通網の拡充でマーケットが広がったと思う。
・交通アクセスが向上し、企業立地、観光面で貢献していると思う。
・関西圏と中部圏の物流の時間短縮と安定化につながった。幅広い商品が物流で回るためメリットがあると思う。
・三重県へのアクセスが良くなり、県外からの来訪者が増えたと思う。
・関西方面から気軽に観光に来られるようになったため。
・観光の入り込み客数にも影響し、波及効果があったと思うため。
・複数の経路が選択できようになったことは、好ましいことである。
・走りやすく、事故の削減にもつながったと思う。

【理由：新名高速道路開通は地域の活性化につながったと思わない+どちらかというと思わない】

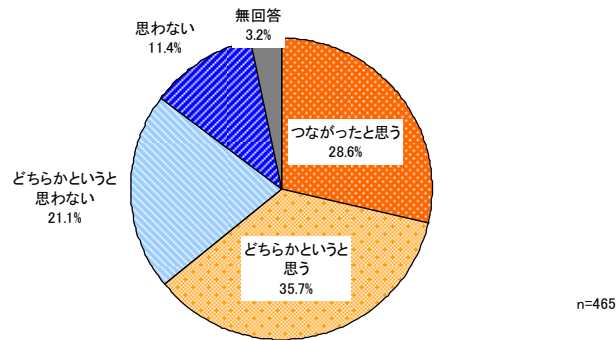
※自由記入の回答から特徴あるものを抜粋

・渋滞の増加により不便になったため。拡張工事を求める。
・亀山～四日市間が渋滞になっている。
・渋滞を回避するため一般道が迂回路となり、渋滞が発生している。
・恩恵をうけるのは特定の地域に限られ、格差が生じてしまうため。
・交通量が増加しても、三重県は通過点となることが多いと思うため。
・観光客が増加しても、日帰り客が多く、宿泊せずに帰ってしまうことが多いため。

4-2. 高速道路無料化社会実験は地域の活性化につながったと思うか

“高速道路無料化社会実験は地域の活性化につながったと思うか”を尋ねた結果では、「つながったと思う (28.6%)」と「どちらかというと思う (35.7%)」をあわせると 64.3%が、“活性化につながったと思う”と回答している。

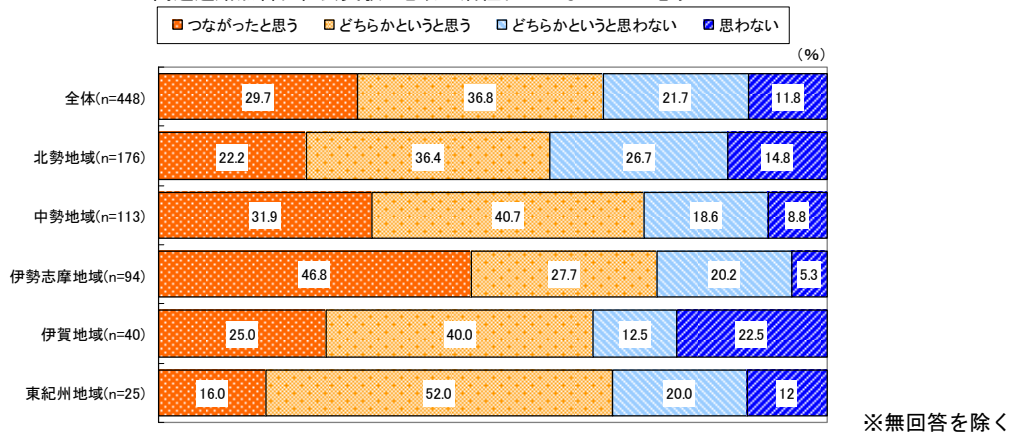
高速道路無料化社会実験 地域の活性化につながったと思うか



【地域別】

所在地別にみると、“活性化につながったと思う (「つながったと思う」+「どちらかというと思う) ”の回答割合は、「伊勢志摩地域 (74.5%)」、「中勢地域 (72.6%)」で最も高く、「北勢地域 (58.6%)」で最も低くなっている。

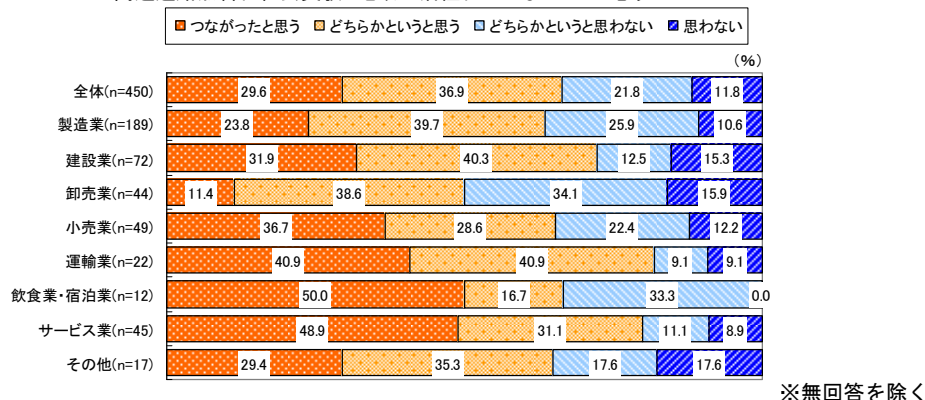
高速道路無料化社会実験 地域の活性化につながったと思うか



【業種別】

業種別にみると、“活性化につながったと思う (「つながったと思う」+「どちらかというと思う) ”の回答割合は、「運輸業」で最も高くなっている (81.8%)。一方、「卸売業」では 50.0%と最も低くなっている。

高速道路無料化社会実験 地域の活性化につながったと思うか



【理由：高速道路無料化社会実験は地域の活性化につながったと思う+どちらかというと思う】

※自由記入の回答から特徴あるものを抜粋

・ 自社は北勢地域の企業で影響はなかったが、津市より南の無料化区間の方面は活性化したと思う。
・ 三重県の南部、紀州方面に行きやすくなり、足を伸ばす人が増えたと思う。
・ 無料であることから高速道路を気軽に利用する人が増えたと思う。人の移動が増えれば経済は活性化すると思う。
・ 道路に三重県外のナンバーの車が増えたと思う。
・ 観光客の増加で伊勢志摩方面、東紀州方面の活性化につながったと思う。
・ 対象区間の生活圏が広がったと思う。
・ 一般道の渋滞緩和につながったと思う。
・ もともと高速道路での移動が必要とされる地域であったため、負担が少なくなった。
・ 物流の費用（時間）の削減につながっていると思う。
・ 無料化の範囲を広げていけば、良い方向につながると思う。

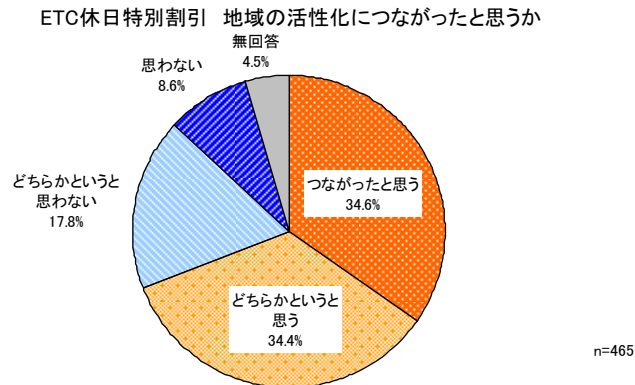
【理由：高速道路無料化社会実験は地域の活性化につながったと思わない+どちらかというと思わない】

※自由記入の回答から特徴あるものを抜粋

・ 無料化の区間が限られている。
・ 対象区間が限られており、中途半端な施策になっている。
・ 渋滞の発生原因になっている。
・ 渋滞の場所在安定しなくなった。
・ 宿泊をせずに日帰りする客が増えたため。
・ 通過点にある地場の産業には観光客が立ち寄りなくなったと思う。国道のロードサイドの店舗にはマイナス効果が出たと思う。
・ 交通量は増えているが、タクシーや電車などには悪影響があったと思うため。
・ マナーを守らないドライバーが増加した。
・ 高速道路の価値は、本当に必要としている企業が有料で時間短縮できることにあると思うため。
・ 財源を他の施策へまわして欲しい。

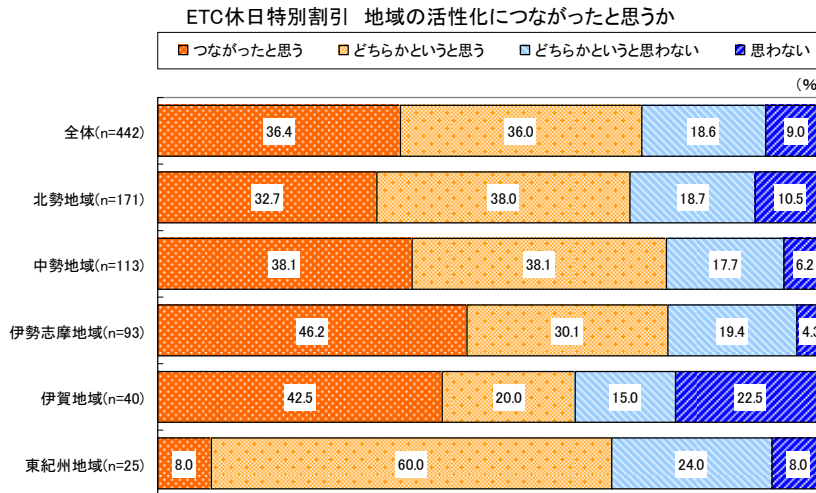
4-3. ETC休日特別割引は地域の活性化につながったと思うか

“ETC休日特別割引は地域の活性化につながったと思うか”を尋ねた結果では、「つながったと思う (34.6%)」と「どちらかというと思う (34.4%)」をあわせると69.0%が、“活性化につながったと思う”と回答している。



【地域別】

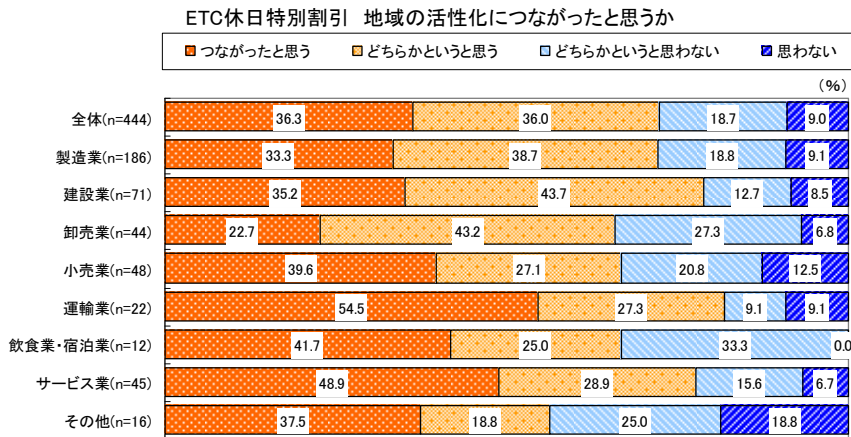
所在地別にみると、“活性化につながったと思う (「つながったと思う」+「どちらかというと思う) ”の回答割合は、「伊賀地域」が最も低くなっている (62.5%)。



※無回答を除く

【業種別】

業種別にみると、“活性化につながったと思う (「つながったと思う」+「どちらかというと思う) ”の回答割合は、「運輸業」で最も高く (81.8%)、「卸売業」で最も低くなっている (65.9%)。



※無回答を除く

【理由：ETC休日特別割引は地域の活性化につながったと思う+どちらかというと思う】

※自由記入の回答から特徴あるものを抜粋

・道路の交通量が増えており、経済活動（住民の外出など）が活性化したと思う。
・都市部からの観光客が増えて、地域活性化につながる。
・近隣の観光地の観光客が増加したと実感できる。
・関西地方からの伊勢方面への観光客が増加しているため。
・観光客が増え、にぎわいが増したように思う。
・休日に三重県外のナンバーの車両を多く見かけるようになったため。
・1,000円で利用できるということで使う人が増えたと思う。
・活性化の効果はあったが、受益者負担が原則と思う。

【理由：ETC休日特別割引は地域の活性化につながったと思わない+どちらかというと思わない】

※自由記入の回答から特徴あるものを抜粋

・土日の渋滞を増加させた。
・区間によっては渋滞の影響が大きい。
・特定の地域に車が集中しすぎて、インフラや企業が対応しきれていない。
・伊勢、鳥羽方面へは日帰り観光客ばかりで地域活性化にはつながっていない。
・車での移動が増えた分、ほかの交通機関の利用が減少したように感じるため。
・高速道路沿いの地域とそれ以外の地域の格差が生じるため。
・高速道路以外のインフラを崩壊させる。
・事故などの危険性が増しただけのように感じる。
・道路の維持管理費財源から検討すべき。最終的に財源不足になり国民負担になると思うため。
・ガソリンの浪費につながり、環境保護に逆行している。

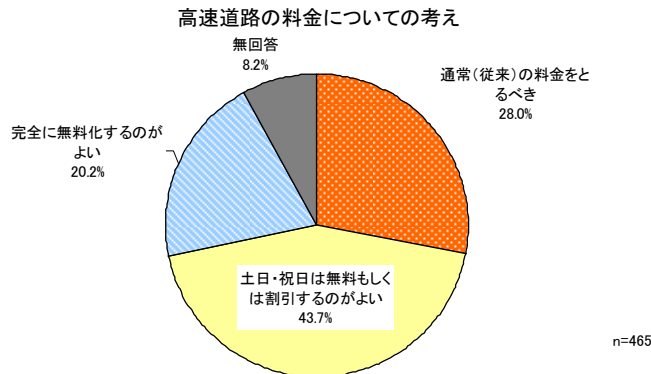
【その他、中間的な意見（ETC休日特別割引は地域の活性化につながったと思うか）】

※自由記入の回答から特徴あるものを抜粋

・短期間であれば意義があるが、長く続けるべきではない。
・地域にとってはメリットがあるが、不公平感があり、国全体ではマイナスだと思う。

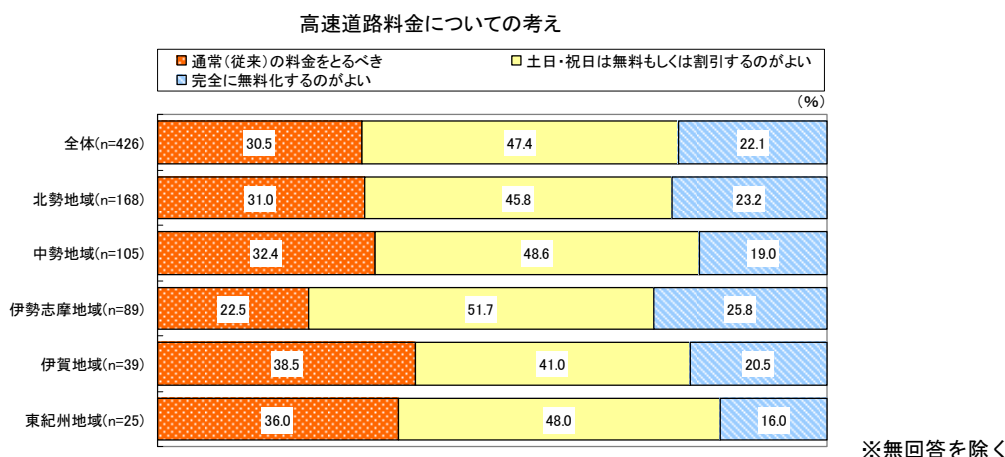
5. 高速道路の料金についての考え

高速道路の料金についての考えを、「通常（従来）の料金をとるべき」、「土日・祝日は無料もしくは割引するのがよい」、「完全に無料化するのがよい」の中から尋ねた結果では、「土日・祝日は無料もしくは割引するのがよい（43.7%）」の回答割合が最も高く、「通常（従来）の料金をとるべき（28.0%）」が次いで高く、「完全に無料化するのがよい」は約2割となった（20.2%）。



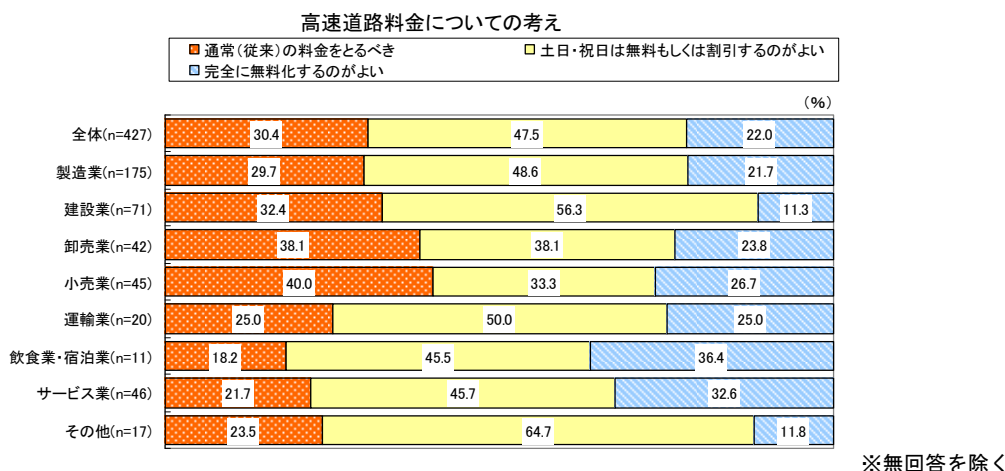
【地域別】

所在地別にみると、「完全に無料化するのがよい」の回答割合は「伊勢志摩地域」が最も高く（25.8%）、「通常（従来）の料金をとるべき」は、「伊賀地域」が最も高くなっている（38.5%）。



【業種別】

業種別にみると、「完全に無料化するのがよい」の回答割合は「飲食業・宿泊業」、「サービス業」が高く、「小売業」、「卸売業」は「通常（従来）の料金をとるべき」が高くなっている。



本調査に関するお問い合わせは、下記までお気軽にお寄せください。

株式会社 百五経済研究所 経営コンサルティング部 川北・森里

三重県津市丸之内9-18 津丸の内ビル

TEL 059-228-9105

FAX 059-228-9380

URL <http://www.hri105.co.jp/>